

社団法人 日本雪氷学会
2009 年度通常総会資料

期日： 2009年5月21日 (木)

場所： 幕張メッセ国際会議場203

社団法人日本雪氷学会
2009年度通常総会次第

1. 開 会

2. 議長および議事録署名人の選任

3. 議 事

- ・第1号議案 2009・2010年度会長、理事、監事選任に関する件
- ・第2号議案 2008年度事業報告、収支決算及び監査報告の承認に関する件
 - (1) 事業報告 (2) 収支決算 (3) 監査報告
- ・第3号議案 2009年度事業計画及びこれに伴う収支予算について
 - (1) 事業計画 (2) 収支予算
- ・第4号議案 細則の改定について
- ・その他

4. 議長の解任

5. 2009年度井上フィールド科学研究基金助成対象者発表

6. その他

7. 閉 会

話題提供

「南極氷床コア深層部の精密年代決定法の裏付けとなる、フィルンの生成・変態・変形の物理機構」

藤田秀二（極地研究研）

「国際宇宙ステーション「きぼう」での氷結晶成長実験」

古川義純（低温科学研究所）

第1号議案 2009・2010年度会長、理事、監事選任に関する件

会長、理事、監事候補者 (50音順)

会長 藤井 理行 (国立極地研究所)

理事 (15名) 青木 輝夫 (気象研究所 物理気象研究部)

阿部 修 ((独)防災科学技術研究所)

磯崎 正則 (東京電力(株))

上田 保司 ((株)精研)

神田 健三 (中谷宇吉郎雪の科学館)

水津 重雄 ((株)ジオシステムズ)

角川 咲江 (西堀榮三郎記念探検の殿堂)

竹内 望 (千葉大学大学院 理学研究科)

竹内由香里 (森林総合研究所十日町試験地)

苫米地 司 (北海道工業大学 建築学科)

西村 浩一 (名古屋大学大学院 環境学研究科)

古川 義純 (北海道大学 低温科学研究所)

山崎 剛 (東北大学大学院 理学研究科)

雪野 昭寛 (関西電力(株) 東京支社附出向 (財) 電力中央研究所)

横山宏太郎 (農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合センター)

監事 (2名) 上田 豊 (名古屋大学名誉教授)

三橋 博巳 (日本大学 理工学部)

以上の他、次の支部長4名が理事として加わる。

北海道支部： 山田 知充 (元 北海道大学低温科学研究所)

東北支部： 力石 國男 (弘前大学 理工学研究科)

北信越支部： 佐藤 篤司 ((独) 防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター)

関東・中部・西日本支部： 成田 秀明 (元 海上技術安全研究所)

第2号議案 2008年度事業報告、収支決算及び監査報告の承認に関する件

(1) 事業報告

I. 事業の状況

1. 研究会等の開催（定款第5条2号）

- 1-1. 2008年度雪氷研究大会を9月24～27日に東京大学工学部で開催した（日本雪工学会と共同）。研究発表（参加者：410名，発表：233件），公開講演会（参加者：128名）。
- 1-2. 第19回雪崩対策の基礎技術研修会を1月22～23日に長野県長野市戸隠で開催した。参加者：19名。
- 1-3. 公開イベント「雪氷楽会inTOKYO」を9月27日に東京大学工学部2号館で開催した（文部科学省平成20年度科学研究費補助金による）参加者：608名。
- 1-4. 「雪氷学」「雪氷圏と気候」「コアが拓く地球環境変動史」の各セッションを5月29～30日に開催した。（日本地球惑星科学連合2008大会期間内 会場：幕張メッセ国際会議場）
- 1-5. 各支部・分科会等において研究会等を開催した。

2. 会誌等の刊行（定款第5条3号）

2-1. 和文誌「雪氷」を下記のとおり発行した。

発行年月日	巻	号	発行部数
平成20年 5月15日	70	3	1400部
平成20年 7月15日	70	4	1400部
平成20年 9月15日	70	5	1400部
平成20年 11月15日	70	6	1400部
平成21年 1月15日	71	1	1400部
平成21年 3月15日	71	2	1400部

2-2. 英文誌「Bulletin of Glaciological Research (BGR)」Vol. 26をオープンアクセス電子ジャーナルとしてインターネット上で公開した。

2-3. 北海道支部で機関誌「北海道の雪氷」27号をオープンアクセス電子ジャーナルとしてインターネット上で公開した。

2-4. 東北支部で機関誌「東北の雪と生活」23号を刊行した。

2-5. 北信越支部で機関誌「雪氷北信越」28号を刊行した。

2-6. ホームページによる情報発信を行った。

2-7. 「積雪観測ガイドブック」の編集を行った。

3. その他の事業（定款第5条4号）

3-1. 日本雪氷学会学会賞の表彰を下記に対し行なった。

平田賞（1名）	竹内由香里
論文賞（1件）	隅谷大作，上田保司，生頼孝博

功績賞（1名） 対馬勝年

3-2. 中谷宇吉郎科学奨励賞の候補者を推薦した。

3-3. 4支部が各種活動を行なった。

3-4. 当法人に設置された分科会，研究会が各種活動を行なった。

3-5. 井上フィールド科学研究基金による研究助成を2件行なった。

3-7. 各種講演会等の共催（1件），協賛（4件），後援（4件）を行なった。

4. 総務事項

4-1. 2008年度通常総会 1 回，理事会6回，評議員会1回を開催した。

通常総会 2008年5月29日

第1回理事会 2008年5月29日

第2回理事会 2008年9月8日～9月17日（文書審議理事会）

第3回理事会 2008年9月24日

第4回理事会 2009年1月9日～1月22日（文書審議理事会）

第5回理事会 2009年3月17日

第6回理事会 2009年5月21日

評議員会 2008年9月25日

4-2. 各委員会が活動を行なった。

- | | | |
|------------|-----------|---------|
| ① 総務委員会 | ② 財務委員会 | ③ 学術委員会 |
| ④ 事業委員会 | ⑤ 雪氷編集委員会 | ⑥ 広報委員会 |
| ⑦ BGR編集委員会 | ⑧ 電子情報委員会 | |

会員数の推移は以下の通りである。

	2008. 3. 31	2009. 3. 31
正会員	9 4 4	9 2 2
名誉会員	1 2	1 1
終身会員	4 4	5 0
特別会員	1 8	1 8
賛助会員	8 3	7 6
購読会員	1 1 3	1 0 5

《北海道支部》

1. 支部総会の開催（北大百年記念会館 4月10日）
2. 春の講演会の開催（北大百年記念会館 4月10日 講演：2件 参加者：60名）
3. 研究発表会の開催（北大百年記念会館 6月10日 発表：28件 参加者：121名）
4. 機関誌「北海道の雪氷」27号（冊子体50部及び電子出版）の刊行
5. ニュースレターNo. 30, 31, 32の刊行
6. 地域講演会の開催（釧路市 12月6日 参加者：第1部40名、第2部160名）
7. 理事会（5回：うち2回は文書審議）・幹事会（1回）等会議の開催
8. 共同主催事業（1件）
9. 各種共催事業（3件）
10. 後援事業（1件）
11. 雪崩災害調査（2件）
12. 北海道支部創立50周年記念行事及び出版
13. 支部ホームページの運営
14. 支部メーリングリストの運営

《東北支部》

1. 支部総会の開催（新庄市雪の里情報館 5月16日）
2. 研究発表会の開催（新庄市雪の里情報館 5月16, 17日 発表：32件）
3. 特別講演会の開催（新庄市雪の里情報館 5月16日 講演：2件）
4. 機関誌「東北の雪と生活」23号の刊行
5. ニュースレターNo. 43～45の刊行
6. 地方講演会の開催（岩手大学 4月26日 参加者：49名）
7. 積雪観測講習会の開催（秋田県立田沢湖スポーツセンター 2月13日）
8. 2008年度東北雪氷賞の表彰（2件）

9. 理事会・幹事会等会議の開催

10. 支部ホームページの運営

《北信越支部》

1. 2008年度北信越支部総会の開催（5月24日 長岡技術科学大学）
2. 研究発表会・製品発表検討会の開催（5月24日 長岡技術科学大学 参加者：74名）
3. 講演会の開催 なし
4. 見学会の開催
第14回雪形ウォッチング（5月17, 18日 長野県松本市、白馬村等 参加者：69名）
5. 学習会の開催5回（4月9日 長岡市 参加者：83名、7月29日 新潟市 参加者：33名、8月25日 新潟市 参加者：32名、11月20日 新潟市 参加者：26名、2月4日 長岡市 参加者：24名）
6. 講習会の開催 なし
7. 各種共催事業（1件）
8. 後援事業（0件）
9. 機関誌「雪氷北信越」28号の刊行
10. 北信越支部ホームページの更新
11. 2008年度北信越支部賞の表彰（3件）
12. 理事・幹事合同会議の開催（2回）
13. 顧問・評議員会の開催（1回）

《関東・中部・西日本支部》

1. 支部総会の開催（4月16日、東京・化学会館）
2. 支部役員会の開催（4月12日、東京・化学会館）
3. 臨時支部役員会（11月28日、東京・電力中央研究所）
4. タスクグループ会議（1月8日、2月12日、2月23日、3月27日、東京・電力中央研究所）
5. ニュースレターNo. 71の発行（7月20日）
6. 関西分会学習会の開催（2月3日、近

畿大学農学部 原菌芳信『アラスカにおける温暖化と陸域生態系の対応』)

7. 「雪を調べる」活動 (2月1日, 氷ノ山; 2月19~20日, 奥日光)
8. 雪氷研究大会 (東京・2008) 開催支援 (実行委員会開催 4月15日, 5月14日, 6月17日, 7月24日, 8月22日, 9月11日, 10月27日, 東京・東京大学及び JAMSTEC 東京事務所)

《氷河情報センター》

1. 総会の開催 (9月25日 東京)
2. ミニシンポジウムの開催 (9月25日 東京)
3. 雑誌「雪氷」70巻3号掲載の氷河情報センターニュース No.30 ならびに WEB を通じての氷河情報の提供
4. 世界各地の氷河研究に関する資料等の収集と提供
5. 氷河の研究・調査活動に対する援助と啓蒙
6. 活動支援基金を利用した事業の検討

《極地雪氷分科会》

1. オーガナイズドセッション「南極観測隊報告およびドームふじ観測計画の主要な成果」の開催 (9月25日, 東京大学, 報告6件, 参加者: 32名)
2. 総会の開催 (9月25日, 東京大学, 事業・会計報告・役員改選を実施, 参加者: 32名)
3. 南極観測将来計画検討 WG での研究計画の検討
4. 極地雪氷分科会 HP の更新ならびにこの HP を利用した極地雪氷に関する情報発信
5. 極地雪氷データベースの検討

《凍土分科会》

1. 総会の開催 (9月25日 東京)
2. 講演会「永久凍土の温度計測 -その目的と要請される測温精度-」の開催 (9月25日 東京, 参加者 26名)
3. ホームページの管理と更新

《雪崩分科会》

1. 総会・研究会の開催 (9月24日 東京・東京大学 講演: 3件 参加者: 50名)
2. 第12回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナーの開催 (1月21日 長野県長野市戸隠高原 参加者: 15名)
3. 雪氷学会主催「第19回雪崩対策の基礎技術研修会」の開催協力 (1月22~23日 長野県長野市戸隠高原 参加者: 19名)
4. ニュースレターNo. 41, 42 の刊行
5. ホームページの更新と管理
6. 雪崩分科会メーリングリストの運営と管理
7. 「雪氷」の雪崩特集号発行に向けた編集協力
8. 雪崩研修会のテキスト改訂に向けた編集協力

《雪氷物性分科会》

1. 総会・2008年度雪氷物性シンポジウムの開催 (9月26日 東京都 講演: 2件 参加者: 20名)

《衛星観測分科会》

1. オーガナイズドセッション「2007/08の北極圏」(気象水文分科会との合同セッション) の開催 (9月25日, 東京大学, 講演: 5件)
2. 総会の開催 (9月25日, 東京大学, 事業

報告・会計報告・役員改選を実施, 参加者: 11名)

3. ホームページ新規開設・メーリングリスト導入の検討

《雪氷工学分科会》

1. 総会 (第 16 回) および講演会の開催 (9 月 24 日 東京都文京区 講演: 1 件 参加者: 30 名)
2. ホームページの運営と管理
3. ホームページの運営と管理

《雪氷化学分会》

1. 総会・講演会の開催 (9 月 26 日 東京大学 講演: 1 件 参加者: 35 名)
2. ホームページの更新

3. 雪合宿の実施 (2009 年 1 月 14 日～1 月 16 日 信州大学・山岳科学総合研究所 志賀高原センター 参加者 29 名)

《気象水文分会》

1. 総会・分会内規の変更 (9 月 26 日 東大本郷キャンパス)
2. ワークショップの開催 (衛星観測分会との合同, 9 月 26 日 東大本郷キャンパス 紹介講演: 5 件)

《吹雪分会》

1. 総会・講演会の開催 (9 月 24 日 東京 参加者: 35 名)
2. 雪氷「吹雪特集号」の発刊
3. メーリングリストの整備と運用開始

(2) 収支決算

2008年度収支計算書(案)
通常会計
2008/04/01～2009/03/31

(収入の部)					(単位円)
科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考	
1. 基本財産運用収入	581,400	581,400	0		
基本金利息	288,400	288,400	0		
井上基金利息	293,000	293,000	0		
2. 会費収入	12,553,720	9,399,000	-3,154,720		
正会員会費	6,784,720	3,868,000	-2,916,720	自動引落年度変更のため	
特別会員会費	550,000	580,000	30,000		
賛助会員会費	3,510,000	3,300,000	-210,000		
購読会員会費	1,524,000	1,558,000	34,000		
分科会会費	185,000	93,000	-92,000		
支部会員費	0	0	0		
3. 事業収入	7,295,500	5,659,665	-1,635,835		
研究大会収入	2,850,000	3,286,409	436,409		
研修会収入	1,070,000	424,000	-646,000		
出版収入	3,375,500	1,949,256	-1,426,244	投稿論文数減のため	
4. 助成金	950,000	800,000	-150,000		
公開シンポジウム	950,000	800,000	-150,000		
5. 内部移管勘定	1,315,000	2,117,432	802,432		
交付金支部収入	850,000	850,000	0		
事業収支差額(収入)	465,000	767,432	302,432		
支部・分科会特定事業交付金	0	500,000	500,000		
6. 資産勘定からの繰入	1,390,000	1,540,000	150,000		
基金からの繰入	1,390,000	1,540,000	150,000		
その他	0	0	0		
7. 雑収入	349,416	896,305	546,889		
中谷奨励賞選考委託	300,000	300,000	0		
雪崩調査活動寄付金	0	500,000	500,000		
受取利息	9,416	20,665	11,249		
雑収入	40,000	75,640	35,640		
当期収入合計 a	24,435,036	20,993,802	-3,441,234		
前期繰越収支差額	8,166,323	8,049,532	-116,791		
収入合計 b	32,601,359	29,043,334	-3,558,025		

(支出の部)					(単位円)
科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	増 減 (B)-(A)	備 考	
1. 事業支出	12,545,300	10,113,743	-2,431,557		
研究大会支出	2,800,000	2,369,966	-430,034		
研修会等支出	2,376,000	1,671,662	-704,338		
調査活動支出	50,000	550,121	500,121		
出版支出	6,310,300	4,743,290	-1,567,010	投稿論文数減のため	
普及・啓発事業	195,000	141,750	-53,250		
褒賞費	274,000	256,954	-17,046		
研究助成費	540,000	380,000	-160,000		
2. 管理費	10,028,340	9,244,717	-783,623		
事務費	1,829,240	1,541,643	-287,597		
給与等人件費	3,800,000	3,626,079	-173,921		
家賃・共益費	2,922,000	2,922,000	0		
会議費	1,121,000	875,885	-245,115		
役員選挙費	140,000	146,790	6,790		
支払い手数料	162,100	119,975	-42,125		
雑費	54,000	12,345	-41,655		
3. 内部移管勘定	1,315,000	2,117,432	802,432		
交付金本部支出	1,140,000	1,140,000	0		
事業収支差額(支出)	175,000	477,432	302,432		
支部・分科会特定事業交付金	0	500,000	500,000		
4. 資産勘定への繰入	50,000	4,187,000	4,137,000		
基金への繰入	50,000	4,187,000	4,137,000		
当期支出合計 c	23,938,640	25,662,892	1,724,252		
当期収支差額 a - c	496,396	-4,669,090	-5,165,486		
次期繰越収支差額 b - c	8,662,719	3,380,442	-5,282,277		

2008年度 雪氷学会全体決算

収入合計 ￥18,876,370

内部移管除く ￥2,117,432

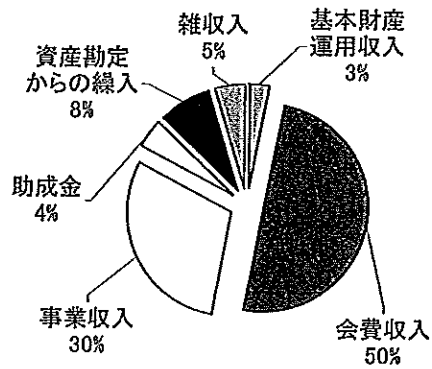
前年度比 ￥-3,441,234

支出合計 ￥23,545,460

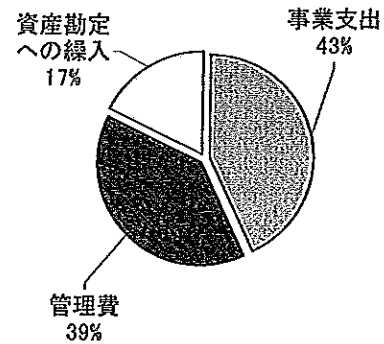
内部移管除く ￥2,117,432

前年度比 ￥1,724,252

収入

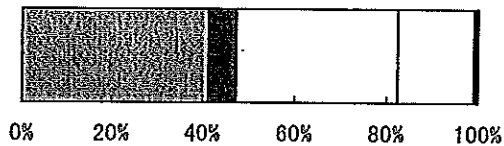


支出



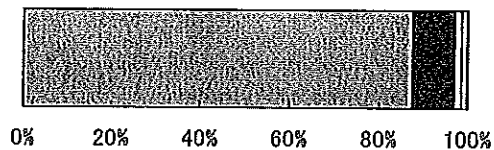
会費収入内訳

□正会員 ■特別会員 □賛助会員 □購読会員 ■分科会員



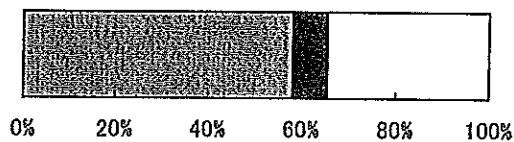
管理費内訳

□事務局 ■会議費 □役員選挙費 □手数料 ■雑費



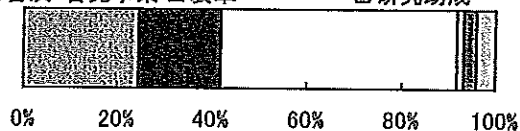
事業収入内訳

□全国大会 ■研修会 □出版



事業支出内訳

□全国大会 ■研修会 □出版
□普及・啓発事業 □褒章 □研究助成



社団法人 日本雪氷学会

正味財産増減計算書

(2008年4月1日から2009年3月31日まで)

科目	金 額		
I. 増加の部			
1. 資産増加額			
公益事業準備資金増加額	2,647,000		
未収金増加額	2,417,050		
前受金減少額	2,706,000		
増加額合計		7,770,050	
II. 減少の部			
1. 資産減少額			
当期収支差額	4,669,090		
棚卸資産減少額	1,340,712		
預り金増加額	3,317		
未払い金増加額	49,400		
減少額合計		6,062,519	
当期正味財産増加額			1,707,531
前期繰越正味財産額			63,978,060
期末正味財産合計額			65,685,591

貸借対照表

(2009年3月31日現在)

科目	金 額		
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金	129,702		
預貯金	3,003,524		
振替口座	247,216		
未収金	6,908,000		
棚卸資産	638,367		
流動資産合計		10,926,809	
2. 固定資産			
基本財産			
国債	2,300,000		
地方債	39,000,000		
基本財産合計		41,300,000	
その他固定資産			
支部・分科会活動支援基金	13,623,000		
敷金	2,115,000		
電話加入権	149,968		
その他固定資産合計		15,887,968	
固定資産合計			57,187,968
資産合計			68,114,777
II. 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	2,332,000		
預り金	47,786		
未払い金	49,400		
流動負債合計		2,429,186	
負債合計			2,429,186
III. 正味財産の部			
正味財産			65,685,591
(内基本金)			41,300,000
(内当期正味財産増加額)			1,707,531

(注) 1. 有価証券は、取得価格で表記した。

2. 資金の範囲は、現金預金とする。

3. 基本財産の増減はなし。当期末残高は41,300,000円

4. 支部・分科会活動支援基金の当期末残高の内訳は次のとおり

本部;7,501,059円 北海道支部;540,000円 東北支部;417,000円 北信越支部;590,000円

関東・中部・西日本支部;1,892,000円 氷河情報センター;913,000円 凍土分科会;11,588円

雪崩分科会;450,000円 雪氷物性分科会;39,353円 雪氷工学分科会;1,269,000円

社団法人日本雪氷学会 財産目録

2009年3月31日現在

科 目	金 額			
1.資産の部				
1.流 動 資 産				
現 金 預 金				
現 金				
本部	25,324			
北海道支部	24,288			
東北支部	0			
北信越支部	57,892			
関東以西支部	4,580			
氷河情報センター	0			
極地雪氷分科会	0			
雪崩分科会	17,618			
雪氷工学分科会	0			
		129,702		
預 貯 金				
本部:三井住友銀行 飯田橋支店 6321723	1,433,165			
三井住友銀行 飯田橋支店 6802408	897,996			
通常郵便貯金	50,486			
北海道支部:北洋銀行 北7条支店	146,704			
東北支部:通常郵便貯金	158,467			
北信越支部:北越銀行 大島支店	15,972			
関東以西支部:りそな銀行 板橋支店	89,670			
氷河情報センター:三菱東京UFJ銀行 板橋支	39,603			
極地雪氷分科会:通常郵便貯金	49,408			
雪崩分科会:通常郵便貯金	114,702			
雪崩分科会:北越銀行 土合支店	9			
雪氷工学分科会:横浜銀行 川崎支店	7,342			
		3,003,524		
振 替 口 座				
本部:00150-8-134091	200,406			
本部:00130-0-776480	0			
東北支部:02220-8-90361	3,000			
北信越支部:00610-9-4671	24,080			
雪崩分科会:00670-0-26949	19,730			
		247,216		
未 収 金				
本部	6,908,000			
未収会費	6,870,000			
その他未収金	38,000			
		6,908,000		
棚 卸 資 産				
本部	584,307			
北海道支部	2,100			
東北支部:	35,000			
北信越支部	16,960			
関東以西支部	0			
		638,367		
流 動 資 産 合 計			10,926,809	

社団法人日本雪氷学会 財産目録

2009年3月31日現在

2.固定資産				
基本財産				
第268回利付国債	2,300,000			
東京都公募公債第762回	10,000,000			
東京都公募公債第619回	10,000,000			
東京都公募公債第619回	3,000,000			
広島市平成20年度第5回公募公債	11,000,000			
埼玉県平成13年度第3回公募公債	5,000,000			
		41,300,000		
その他の固定資産				
公益事業準備資金	13,623,000			
郵便定額貯金	7,796,000			
銀行定期預金	5,827,000			
敷金				
神田駿河台日本化学会館3F	2,115,000			
電話加入権				
H18-01001752, H14-01002635	149,968			
		15,887,968		
固定資産合計			57,187,968	
資産合計				68,114,777
2.負債の部				
1.流動負債				
前受金				
会費収入前受	2,332,000			
		2,332,000		
預り金				
源泉徴収税・保険料	47,786			
		47,786		
未払い金	49,400			
		49,400		
流動資産合計			2,429,186	
負債合計				2,429,186
正味財産				65,685,591
負債・正味財産				68,114,777

社団法人 日本雪氷学会

監事

三橋博巳 

監事

秋瀬康二 

監査報告書

社団法人日本雪氷学会

会長 藤井 理行 殿

2009年5月11日

社団法人日本雪氷学会

監事 三橋 博巳

監事 成瀬 廉二

民法第59条および本学会定款の定めるところにしたがい、2008年度（2008年4月1日～2009年3月31日）における、社団法人日本雪氷学会の会計ならびに業務の監査を実施した結果、以下の通り報告する。

1. 監査の方法

- 1) 本法人財産については、決算報告書、経理関係書類ならびに証憑類を閲覧、照合するなど、必要と思われる監査手段を用いて、経理処理と財産管理の正確性および的確性を検証した。
- 2) 理事の業務執行状況については、理事会へのオブザーバー出席および各種事業に関わる書類の閲覧などを行い、その適法性および妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 経理および財産管理については、収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表および財産目録の記載は会計帳簿等の記載と一致し、適正に執行されたことを証する。
- (2) 当学会の2008年度決算は、支出合計が収入合計を大きく上回る収支不均衡となったが、これは基金からの繰り入れがあったことと、多額の会費未収金のためであり、学会誌出版等の事業費および学会の管理運営費等の実質的な財政状況は概ね健全であると言える。
- (3) 2008年度全国大会は、雪氷研究大会（2008・東京）として日本雪工学会と合同にて開催されたが、両学会の事前の協議により各学会の経費分担割合が明確に設定されたため、大会の収支決算報告は明瞭かつ書類の不備なく、適正であった。なお、学会賞受賞者等の招待に関わる経理の方法には種々あり得るが、2008年度大会決算のように招待者の取り扱いは大会の経費の中で処理することが妥当な方法と考えられ、今後も原則としてはこれを踏襲することを勧める。

- (4) 理事の職務執行および組織の運営については、法令ならびに学会定款に背くもしくは不適正な行為はなく、かつ各委員会の業務は適切に行われたことを認める。ただし、(2)の未収金の大半は、2009年度会費の自動引き落とし時期を前年度から当年度に変更したことに起因し、次年度はまた元に戻すことになったが、このような朝令暮改は望ましいことではないので、大きな変更をとまなう議案の審議に当たっては、担当理事のみではなく理事はひとしく問題点を十分認識したうえで決議すべきである。
- (5) 公益法人制度改革にともない、当学会が公益社団法人を目指すか、一般社団法人を目指すかにより、組織の運営、経理等、多くの点で異なることと考えられるが、いずれを選択するにせよ、それに向けて様々な面で準備を進めて行く必要がある。

監事署名

三橋博巳 

監事署名

成瀬康二 

第3号議案 2009年度事業計画及びこれに伴う収支予算について

(1) 事業計画

1. 雪氷及び寒冷に関する調査, 研究 (定款第5条1号)

1-1. 「雪氷災害調査チーム」による調査を行う。

2. 雪氷及び寒冷に関する研究会, 講演会, 展示会等の開催 (定款第5条2号)

2-1. 2009年度雪氷研究札幌大会を9月30日～10月2日に札幌で開催する(日本雪工学会と合同)。

2-2. 第20回雪崩対策の基礎技術研修会を開催する。

2-3. 公開シンポジウムを開催する(10月3日、科研費補助事業「雪氷楽会 in SAPPORO」)。

2-4. 日本地球惑星科学連合2009大会の中で、レギュラーセッションとして「雪氷学」、「雪氷圏と気候」、「コア研究が拓く地球環境変動史」を開催する(5月)。

2-5. IGS Sapporo 2010 の開催準備をする。

2-6. 各種講演会等の共催, 協賛, 後援を行なう。

2-7. 各支部・分科会等において研究会等を開催する。

3. 会誌その他資料の刊行 (定款第5条3号)

3-1. 学会誌「雪氷」の第71巻3号～6号, 第72巻1号～2号を刊行する。

3-2. Bulletin of Glaciological Research (BGR) Vol. 27を刊行する。

3-3. 積雪観測ガイドブックを刊行する。

3-4. 北海道支部で機関誌「北海道の雪氷」28号, ニュースレター (2～3回) を刊行する。

3-5. 東北支部で機関誌「東北の雪と生活」24号, ニュースレター (2～3回) を刊行する。

3-6. 北信越支部で機関誌「雪氷北信越」29号を刊行する。

3-7. 関東・中部・西日本支部で機関誌「雪氷フォーラム」9号, ニュースレター (1回) を刊行する。

4. その他この法人の目的達成に必要な事業 (定款第5条4号)

4-1. 日本雪氷学会学会賞の表彰を行なう。

4-2. 中谷宇吉郎科学奨励賞の候補者を推薦する。

4-3. それぞれの支部が各種活動を行なう。

4-4. 当法人に設置された分科会が各種活動を行なう。

4-5. 井上フィールド科学研究基金による研究助成を行なう。

5. 総務事項

5-1. 2009年度通常総会, 理事会ならびにその他会合を開催する。

5-2. 各委員会が活動を行なう。

(各支部・分科会等の活動計画は別添1を参照)

別添1 2009年度支部・分科会活動計画

《北海道支部》

1. 支部総会の開催（札幌市）
2. 春の講演会の開催（札幌市）
3. 研究発表会の開催（札幌市）
4. 機関誌「北海道の雪氷」28号の刊行
5. ニュースレターの刊行（2～3回）
6. 地域講演会の開催
7. 理事会・幹事会等会議の開催
8. 支部ホームページの運営
9. 支部創立50周年記念講演会・祝賀会の開催及び記念誌の刊行
10. 雪氷災害調査チームの活動
11. 研究成果普及事業

《東北支部》

1. 支部総会の開催（福島市）
2. 支部研究発表会の開催（福島市）
3. 特別講演会の開催
4. 機関誌「東北の雪と生活」24号の刊行
5. ニュースレターの刊行（2～3回）
6. 地方講演会の開催（1～2回）
7. 見学会または雪に関する講習会の開催（1ヶ所）
8. 子供（親子）を対象とする雪氷観察会の開催（1ヶ所）
9. 理事会の開催
10. 東北雪氷賞選考委員会の開催
11. 2009年度東北雪氷賞の表彰

《北信越支部》

1. 支部総会の開催（加賀市）
2. 研究発表会・製品発表検討会の開催（加賀市）
3. 講演会の開催（2回）
4. 見学会の開催（1回）
5. 学習会の開催（新潟地区、長野地区、富山地区、石川地区、福井地区で計5回）

6. 講習会の開催（1回）
7. 教育普及に関する企画事業の開催（1回）
8. 機関誌「雪氷北信越」29号の刊行
9. 2009年度北信越支部賞の表彰
10. 理事・幹事合同会議の開催
11. 顧問・評議員会の開催

《関東・中部・西日本支部》

1. 支部総会の開催（東京）
2. 関東分会雪氷サロン（1回）
3. 関西分会講演会（1回）
4. 積雪観測講習会（2回）
5. ニュースレターの原稿作成（1回）
6. 機関誌「雪氷フォーラム」第9号の原稿作成
7. 役員会（理事幹事合同会議）の開催（3～4回）
8. 各分会役員会の開催（随時）
9. IT環境整備
10. その他

《氷河情報センター》

1. 総会の開催
2. 雑誌「雪氷」ならびにWEBを通じての情報の提供
3. 活動支援基金を利用した事業の検討
4. ミニシンポジウム開催の検討
5. 世界各地の氷河研究に関する資料等の収集
6. 氷河の研究・調査活動に対する援助と啓蒙

《極地雪氷分科会》

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. ワーキンググループによる研究計画の検討ならびに極地雪氷用語集の改訂
4. ホームページによる情報発信ならびに

ホームページの充実

《凍土分科会》

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. 凍土スモールセミナーの開催
4. ホームページの活用

《雪崩分科会》

1. 総会の開催
2. 研究会の開催
3. ニュースレター刊行 (2回)
4. 第13回全国山岳・スキー場雪崩安全セミナーの開催
5. 第20回雪崩対策基礎技術研修会の開催協力
6. 分科会会員に対する研究協力
7. ホームページの充実と活用
8. メーリングリストの活用

《雪氷物性分科会》

1. 総会の開催
2. 雪氷物性シンポジウムの開催

《衛星観測分科会》

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. 分科会ホームページの開設
4. メーリングリストの作成及び運用
5. 分科会会員に対する研究協力
6. 衛星データ利用情報の提供

《雪氷工学分科会》

2. 総会の開催
3. 講演会の開催
4. 「雪氷工学関連研究リスト」の作成
5. 雪氷工学に関する情報交換
6. その他

《雪氷化学分科会》

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. 分科会ホームページの更新
4. 雪合宿の実施

《気象水文分科会》

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. メーリングリスト(兼会員名簿)の作成
4. 分科会内規の改定

《吹雪分科会》

1. 総会の開催
2. 講演会の開催
3. メーリングリストの運用

(2) 収支予算

2009年度収支予算書(案)

通常会計

2009/04/01～2010/03/31

(収入の部)

(単位円)

科 目	2009年度予算 (A)	2008年度予算 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
1. 基本財産運用収入	602,300	581,400	20,900	
基本金利息	309,300	288,400	20,900	
井上基金利息	293,000	293,000	0	
2. 会費収入	11,818,920	12,553,720	-734,800	
正会員費会費	6,583,920	6,784,720	-200,800	
特別会員費	580,000	550,000	30,000	
賛助会員費	3,250,000	3,510,000	-260,000	
購読会員費	1,320,000	1,524,000	-204,000	
分科会員費	85,000	185,000	-100,000	
支部会員費	0	0	0	
3. 事業収入	6,892,500	7,295,500	-403,000	
研究大会収入	2,542,500	2,850,000	-307,500	
研修会収入	970,000	1,070,000	-100,000	
出版収入	3,380,000	3,375,500	4,500	
4. 助成金	950,000	950,000	0	
公開シンポジウム	950,000	950,000	0	
5. 内部移管勘定	3,173,000	1,315,000	1,858,000	
交付金支部収入	1,123,000	1,140,000	-17,000	
事業収支差額(収入)	50,000	175,000	-125,000	
支部・分科会特定事業交付	2,000,000	0	2,000,000	
6. 資産勘定からの繰入	6,860,000	1,390,000	5,470,000	
準備資金からの繰入れ	6,860,000	1,390,000	5,470,000	
7. 雑収入	326,010	349,416	-23,406	
中谷奨励賞選考委託	300,000	300,000	0	
受取利息	11,010	9,416	1,594	
雑収入	15,000	40,000	-25,000	
当期収入合計 a	30,622,730	24,435,036	6,187,694	
前期繰越収支差額	5,801,575	8,166,323	-2,364,748	
収入合計 b	36,424,305	32,601,359	3,822,946	

(支出の部)

(単位円)

科 目	2009年度予算 (A)	2008年度予算 (B)	増 減 (A)-(B)	備 考
1. 事業支出	15,917,100	12,445,300	3,471,800	
研究大会支出	3,002,500	2,700,000	302,500	
研修会等支出	2,720,000	2,376,000	344,000	
調査活動支出	575,000	50,000	525,000	
出版支出	8,241,600	6,160,300	2,081,300	
普及啓発事業	544,000	195,000	349,000	
褒章費	294,000	274,000	20,000	
研究助成費	540,000	540,000	0	
2. 管理費	10,446,815	10,128,340	318,475	
事務費	1,805,715	1,974,240	-168,525	
給与等件費	4,300,000	3,855,000	445,000	
家賃・共益費	2,922,000	2,922,000	0	
会議費	1,211,000	1,021,000	190,000	
役員選挙費	10,000	140,000	-130,000	
支払い手数料	164,100	162,100	2,000	
雑費	34,000	54,000	-20,000	
3. 内部移管勘定	3,173,000	1,315,000	1,858,000	
交付金本部支出	1,123,000	1,140,000	-17,000	
事業収支差額(支出)	50,000	175,000	-125,000	
支部・分科会特定事業交付	2,000,000	0	2,000,000	
4. 資産勘定への繰入	1,000,000	50,000	950,000	
準備資金への繰入れ	1,000,000	50,000	950,000	
当期支出合計 c	30,536,915	23,938,640	6,598,275	
当期収支差額 a - c	85,815	496,396	-410,581	
次期繰越収支差額 b - c	5,887,390	8,662,719	-2,775,329	

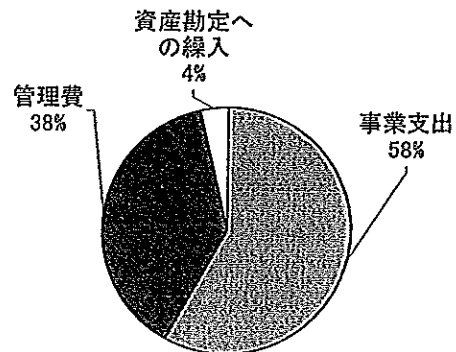
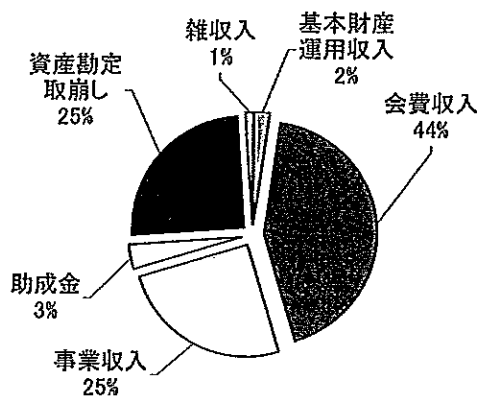
2009年度 雪氷学会全体予算(案)

(内部移管勘定を除く)

収入合計 ¥27,449,730
前年度比 ¥6,187,694

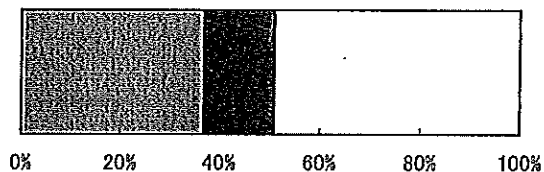
支出合計 ¥27,363,915
前年度比 ¥8,598,275

収支差額 ¥85,815
前年度比 -410,581



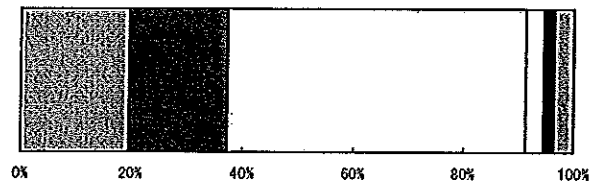
事業収入内訳 ¥6,892,500

□ 全国大会 ■ 研修会 □ 出版



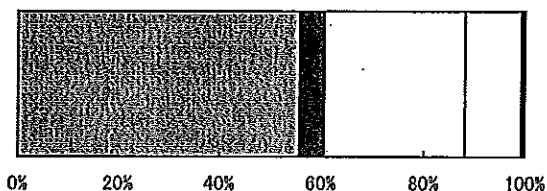
事業支出内訳 ¥15,917,100

□ 全国大会 ■ 研修会 □ 出版 □ WEB ■ 褒賞 □ 研究助成



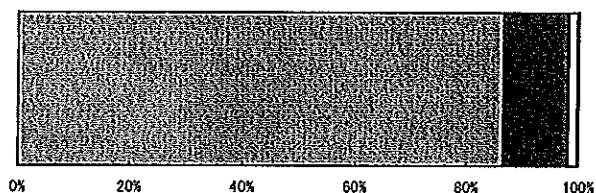
会費収入内訳 ¥11,818,920

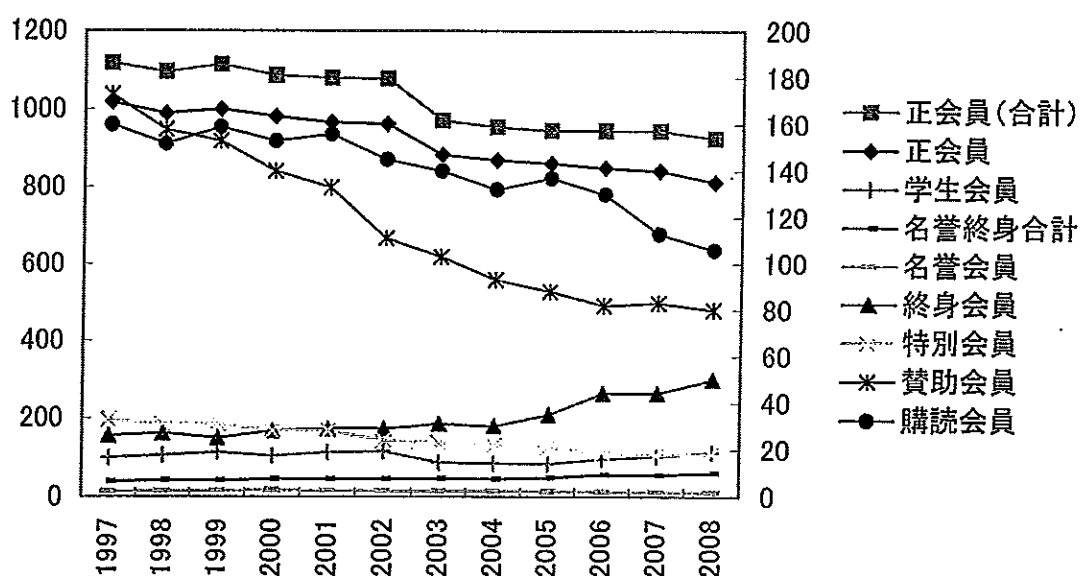
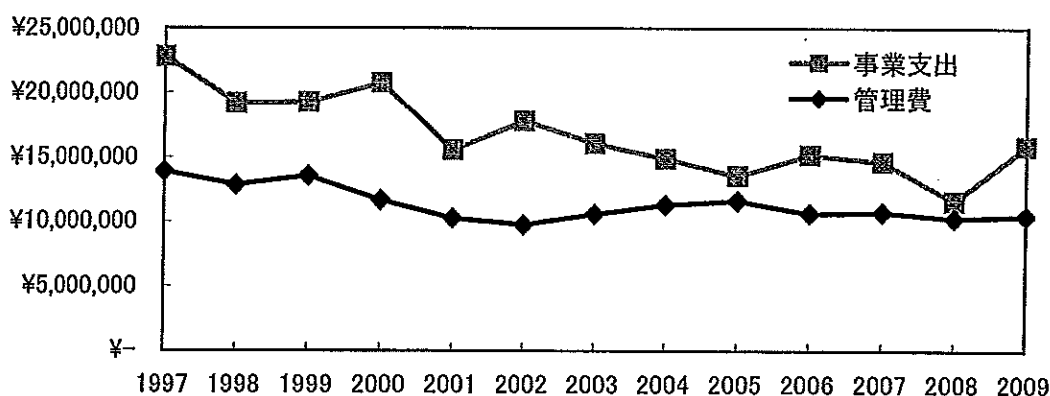
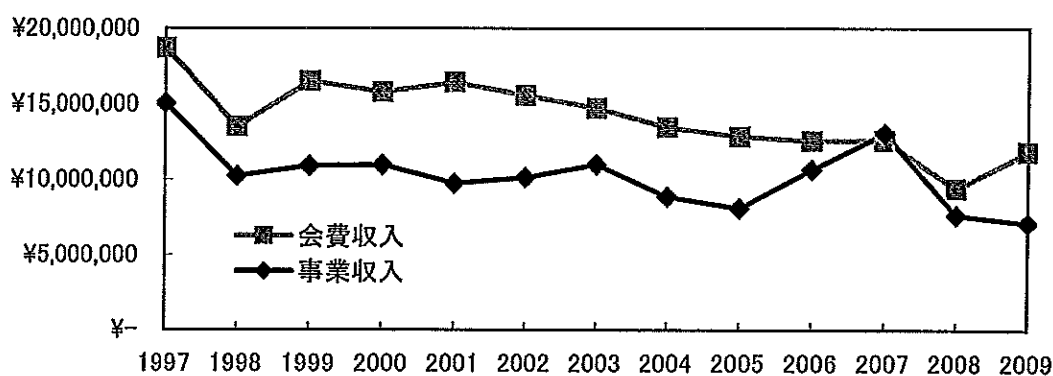
□ 正会員 ■ 特別会員 □ 賛助会員 □ 購読会員 ■ 分科会員



管理費内訳 ¥10,446,815

□ 事務局 ■ 会議 □ 役員選挙 □ 手数料 ■ 雑費





会員数(年度末)

	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006	2007	2008
正会員(合計)	1118	1095	1114	1086	1080	1078	970	954	945	945	944	925
正会員	1018	989	1000	981	966	962	882	868	860	848	841	811
学生会員	100	106	114	105	114	116	88	86	85	97	103	114
名誉終身合計	39	42	41	45	45	45	46	45	49	57	56	61
名誉会員	13	15	16	17	16	16	15	15	14	13	12	11
終身会員	26	27	25	28	29	29	31	30	35	44	44	50
特別会員	33	31	31	28	28	24	23	22	21	19	18	18
賛助会員	173	158	153	140	133	111	103	93	88	82	83	80
購読会員	160	152	159	153	156	145	140	132	137	130	113	106

「吹雪研究会」設立趣意書

(社)日本雪氷学会の吹雪研究会は、発足以来、吹雪の研究者のみならず吹雪対策に携わる民間・行政の方、さらには計測器メーカーの方など広範囲からの参加を得て、主に雪氷学会全国大会の時に、講演・話題提供・見学・討論などを通じ、情報交換や親睦のための活動を行ってきました。これまでの活動を通して、我が国の吹雪研究や吹雪対策などに関する共同研究のきっかけ作りや、人的なネットワークの構築の母体として機能してきたと考えております。

吹雪現象は単に道路の吹き溜まりや視程障害などの災害に関する分野のみならず、屋根雪や家屋周辺の雪の問題など建築分野や都市環境分野、山岳地での雪庇・吹き溜まりの形成などの雪崩防災分野、地域・地球スケールの水循環の1つのプロセスとして捉える地球科学分野などに関わり、これまで以上にその関係する領域が広がりつつあります。また、最近では日本雪氷学会全国大会と日本雪工学会との同時期開催の流れが定着しつつある中で、工学系の方の研究会への参加も増えてきました。参加者は例年20名～30名で、日本雪氷学会の中でも一定規模のコミュニティをなしていると思われます。

このような状況を考慮し、吹雪研究会の活動を一層充実させ、今後の吹雪関連分野の研究や対策のさらなる発展に寄与すべく、従来の親睦会的な吹雪研究会から組織のしっかりした分科会へ移行することについて、一昨年の吹雪研究会の集まりにおいて提案したところ、賛意が得られ、ついで昨年の吹雪研究会の集まりにおいて運営内規(案)の審議ならびに暫定役員(会長、幹事、監事)の選出を行ったところです。

2008年4月の吹雪分科会設立ならびにその運営内規について、(社)日本雪氷学会理事会のご理解とご承認をお願いいたします。

2008年2月18日

吹雪研究会幹事

佐藤 威

伊東靖彦

大槻政哉

杉浦幸之助

社団法人日本雪氷学会 吹雪分科会 運営内規(案)

(名称)

第1条

本運営内規は社団法人日本雪氷学会定款(平成17年1月20日変更施行)第31条、同細則(平成17年5月27日変更施行)第35条に基づき、「吹雪分科会」(以下、本会)の運営等について定めるものである。

(目的)

第2条

本会は吹雪に関わる研究と技術の発展に寄与することを目的とする。

(業務)

第3条

前条の目的達成のため本会は以下の活動を行う。

1. 吹雪に関する研究、技術開発の推進
2. 分科会員相互、関係者間の交流、情報交換
3. その他前条達成に必要な事業

(分科会員)

第4条

分科会員は社団法人日本雪氷学会(以下、雪氷学会)会員のうち、目的に賛同し加入を申し出た者をもって構成する。

(役員)

第5条

本会に役員として以下をおく。

1. 会長 1名
2. 幹事 5名以内
3. 監事 2名以内

第6条

役員の任務は以下の通りとする。

1. 会長 本会を総括、代表すること
2. 幹事 本会の運営を行うこと
3. 監事 本会の財産の状況及び業務執行の状況を監査すること